



前田市長 所信表明

**平成30年枕崎市議会第1回定例会が3月2日
招集され、前田祝成市長が市政運営についての
所信表明を行いました。**

平成30年3月議会の開会に当たりまして、市政運営についての所信について申し述べたいと思います。

枕崎をもっとよいまちに

さきの枕崎市長選挙におきまして市民の皆さまのご信任をいただき、枕崎市長の重責を担うことになりました。市長選挙は28年ぶりの新人同士の選挙となり、ここ数回の市長選挙とは様相の違うものになったと、私の周りでも、また報道等でも評価がなされました。

私は、出馬表明当初から今までの選挙とは違う戦い方を模索し、枕崎を何とかひとつにしたという思いから、組織の力に頼らず市民の皆さまに直接、自身の政治姿勢を伝えてまいりました。結果、この重責を担ったわけですが、これから先、枕崎を

ひとつにとの思いで、行政運営を進めていく覚悟です。

私が覚悟と申し上げたのは、政治に携わる者に限らず、人は人生を懸けて仕事に取り組みむとき、その思いを覚悟に変えて取り組むものです。この議会に臨む全ての人が枕崎のために、枕崎をもっとよい自治体にしてほしいという思いで覚悟を持って臨んでいただければ、あえて覚悟という言葉は申し上げません。

この枕崎をもっとよい自治体にしてほしいという覚悟をそれぞれが持つことが、まず枕崎をひとつにするという第一歩であると私は考えております。そのお互いの強い覚悟の中でよりよい議論が進み、議会が活性化し、行政運営も緊張感を持った中で進んでいくものと信じます。

自治体の経営、つまり行政運営が常に緊張感を持ち、市民フ

アーストで進むことで、市民の皆さんの参加意識、そして枕崎で経済活動をされる組織の皆さんの活動にもよい影響が及び、結果、人も組織もひとつになって前へ進んでいくものと考えます。

公約の実現に向けて

就任から約1カ月が経過しました。その間、課長職からの各課のヒアリングを経て現状を確認するとともに、選挙期間中に私の掲げてきた公約とのすり合わせを始めたところです。私が掲げた「持続的財政強化のための産業競争力向上」、「子育て支援」、「地域と人のつながり、コミュニティデザインの再構築」については、実現に向けて個別具体的に実行プランを立ててまいります。施策によっては達成への工程が困難なものもあろうかと思いますが、一つひとつ丁寧に、そして既存の枠に捉われない新しい考え方で取り組んでまいります。

庁内の5Sの徹底を常に訴えています。ご存じとは思いますが、「整理」「整頓」「清掃」「清掃」「躰」の5つの頭文字「5S」はトヨタ生産方式の基本となり、トヨタを世界的企業に押し上げたメソッド、いわゆる方法です。

庁内に5Sを徹底することで、最終的にはコスト削減、業務の整理整頓を進め、限られたリソース、いわゆる資源を有効に使う工夫で庁内の仕事の仕方を革新し、困難と思われる課題にも積極的に取り組んでまいります。

これから全職員と力を合わせて、枕崎のために丁寧で確実な仕事をしてまいります。

市民の皆さま、そして議会の皆さまのご理解とご協力を何とぞよろしくお願いいたします。

※所信表明の全文は、市ホームページに掲載しています。
【市長の部屋】施政方針・所信表明↓所信表明

5Sの徹底

私は毎週の課長会議の中で、

●平成30年度 各会計の当初予算額と増減率

会計名		平成30年度予算額	平成29年度予算額	増減率(%)	
一般会計		101億7,440万円	104億500万円	△2.2	
特別会計	国民健康保険	36億8,842万1千円	44億1,625万6千円	△16.5	
	後期高齢者医療	3億2,603万9千円	3億3,194万1千円	△1.8	
	介護保険	26億3,445万5千円	24億9,694万6千円	5.5	
	公共下水道事業	8億1,567万4千円	8億9,443万5千円	△8.8	
病院事業	収益的収支	収入	6億1,687万2千円	6億984万9千円	1.2
		支出	7億3,195万7千円	7億2,608万2千円	0.8
	資本的収支	収入	0円	0円	
		支出	5,885万5千円	4,117万4千円	42.9
水道事業	収益的収支	収入	4億4,367万6千円	4億5,472万9千円	△2.4
		支出	4億2,579万2千円	4億4,613万円	△4.6
	資本的収支	収入	3,602万5千円	3,197万5千円	12.7
		支出	2億4,863万3千円	2億1,010万5千円	18.3

平成30年度当初予算は

骨格予算でスタート

平成30年度の予算編成に当たっては、「入るを量りて出づるを制す」を基本姿勢として、最大の歳入確保に努め、事業の優先度を見極めて限られた財源を効果的・効率的に配分します。

第6次総合振興計画の各分野における取組を着実に進めると

ともに、地方創生総合戦略にかかる施策や、公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策等に取り組みます。

また、職員一人ひとりが本市の厳しい財政状況を十分に認識する中で、前例にとられない柔軟な発想やコスト意識を持ち、

■骨格予算とは？

本来当初予算は、その年度のすべての歳入・歳出で編成されるものです。

しかし、今年度は市長就任後間もなく、政策的な判断に時間を要することから、人件費などの義務的経費や継続的業務を中心に計上しました。この予算を「骨格予算」といいます。

■政策経費はどうするの？

普通建設事業や災害復旧費で構成される投資的経費などの政策経費については、6月補正予算に肉付け予算として計上し、合わせて「通年予算」を編成します。

詳細は、「広報まくらざき」7月号に掲載する予定です。

平成30年度一般会計当初予算(101億7,440万円)の内訳

